

システム情報科学府 学生経済支援制度一覧

2024年7月現在

	制度名	対象	支援期間	支援金	特徴的なカリキュラム・活動・支援等	特徴（どのような学生に向いている等々）	備考	募集時期	実施年度
1	マス・フォア・イノベーション卓越大学院	マス・フォア・イノベーション連係学府 博士前期課程学生 博士後期課程学生	博士前期課程2年間 (博士前期課程1年～2年) 博士後期課程3年間 (博士後期課程1年～3年) 希望者対象 プログラム在籍中 (博士課程5年間)	・卓越奨励金：年間535,800円 ※授業料免除申請と併用可 ・卓越奨励金：年間240万円(DC採用者は除く) ※授業料免除申請と併用可 ・TA、RA輪旋、採用による支援 ・留学、インターンシップ等に係る旅費の全額または一部を負担	【分野横断型プログラム】 ・他分野の研究室において数学モデリングに必要な知識を取得し、さらにその手法を用いた課題解決を目指し共同研究を行う事ができる 【卓越社会人博士課程制度】 ・博士前期終了後に企業採用されながら同時に社会人学生として博士後期課程へ進学でき、博士号を取得できる 【マルチメンター制度】 ・教員やボスドクのみならずメンターとして登録された海外連携機関や民間企業の担当者からの指導を受けられる	産業や科学研究などに数学や数理的手法を活用することに興味が有り、博士学位の取得を目指す学生に向いています。本大学院では、数学の基礎力の強化と、応用分野での実践教育を行います。経済的支援をもちろんのこと、博士学位取得後の進路についても、企業へのパスを含む様々な支援策を用意しています。	マス・フォア・イノベーション連係学府Webページ https://www.jgmi.kyushu-u.ac.jp/	【願書受付】 前年度1月上旬 【書類審査】 前年度2月中旬 【面接】 前年度2月下旬 ※システム情報科学府入学選考で合格した志願者を対象に選抜を行う。	プログラムとしては 令和3年度入学者 から 令和8年度入学者 まで
2	次世代研究者挑戦的研究プログラム (K ² -SPRING)	博士後期課程学生 ・国費外国人留学生は申請不可 ・マス・フォア・イノベーション卓越大学院生は申請不可	標準修業年限内	研究奨励費：年間240万円【月額：20万円】 ※篤学力向上等、自学自習にかかる支援金としての2万円/月を含みます。 研究費：年間35万円 ※授業料は半額免除	異分野融合ブレインストーミングである「創発科目A」、自身の専門を超えた未解決課題に対するプロポーザルの提案、口頭試問等を通じ、どの分野でも道を切り拓くことのできる能力を培う「リサーチプロポーザル」、多彩なキャリアパスを考えるための「キャリア開発講座」を必修とし、その他多岐にわたる選択科目を提供しています。選択科目からは必ず1科目を取得する必要があります。 これらの、科目取得を通じ、研究能力に加えて俯瞰力、学際性、国際性や幅広く高度なトランスファラブルスキルを養成します。 自身のオリジナルの研究を実施するための研究費を支援しています。	K2-SPRING は、我が国の科学技術・イノベーションの創造に直接携われることを確約できる方。 K2-SPRING は、我が国の科学技術・イノベーションの創造に直接携われる意思、能力を有する優秀な学生に対し、既存の枠組みにとらわれない自由で挑戦的・融合的な研究に専念するための経済支援を行うとともに、多様なキャリアパスで活躍できる博士人材へと導くことを目的とします。 K2-SPRING は、4つのユニット (①学際ユニット、②グリーンイノベーションユニット、③量子ユニット、④マテリアルユニット) から成り、プログラム生はいずれかのユニットに所属することとなります。 ※マテリアルユニットについては、修士・博士5年間を通じた一貫プログラムであるため、博士課程からの募集は行いません。	【問合せ窓口】 次世代研究者挑戦的研究プログラム窓口 (jisecho@jimu.kyushu-u.ac.jp) 九州大学次世代研究者挑戦的研究プログラムWebページ https://k-spring.kyushu-u.ac.jp/ 【参考】 JST 次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING) 公募要領 https://www.jst.go.jp/jisedai/spring/dl/application-guideline-2024SPRING.pdf	令和6年採用 ：令和6年4月～5月 令和7年予約採用 (1回目) ：令和6年6月～7月 令和8年予約採用 (1回目) ：令和6年6月～7月 令和7年定期採用 ：令和6年11月～12月	令和6年度～令和10年度
3	次世代AI人材育成プログラム (K-BOOST)	博士後期課程学生 ・国費外国人留学生は申請不可	標準修業年限内	研究奨励費：年額381万円【月額：317,500円】 研究費：年額9万円 ※授業料は半額免除	K ² -SPRINGと共通で実施する「創発科目A」「キャリア開発講座」「AI共創型越境科目」とK-BOOST独自に実施する「AIリサーチプロポーザル」があり、支援を受ける学生はすべて受講の必要があります。 支援期間中に、自身のAI研究について、学会発表や論文発表を行わなければいけません。	高度AI人材となる根拠 (エビデンス) を既に持つ方で、博士修了後、我が国に直接貢献することを確約できる方。 新たな基盤理論・技術を構築できる人材 (高度 AI 基盤人材) と、それらの原理を理解した上で様々な分野の課題に応用できる人材 (高度AI 応用人材) を育成します。そして育成に際し、両人材を随時交流させ、共進化させることを目指します。 本プログラムは「将来的に次世代 AI 分野を開拓・牽引していくという志と能力を持つ学生を支援の対象とする」ことを求めています。さらにルールとして、支援期間中にご自身の AI 研究の学会発表や論文発表が必須としています。「ある程度の AI 研究の経験が既にあること」、そしてその研究も「一般的な AI 技術を単に利用したレベル」に留まらないこと」を重視します。	【問合せ窓口】 次世代研究者挑戦的研究プログラム窓口 (jisecho@jimu.kyushu-u.ac.jp) 九州大学次世代研究者挑戦的研究プログラムWebページ https://k-spring.kyushu-u.ac.jp/ 【参考】 次世代AI人材育成プログラム (BOOST) 公募要領 https://www.jst.go.jp/jisedai/boost-s/dl/application-guideline-2024BOOST-S.pdf	令和6年採用 ：令和6年4月～5月 令和7年予約採用 (1回目) ：令和6年4月～5月 令和8年予約採用 (1回目) ：令和6年4月～5月 募集要項公開 ：令和6年6月28日 令和7年予約採用 (2回目) ：令和6年10月～12月 令和8年予約採用 (2回目) ：令和6年10月～12月	令和6年度～令和8年度
4	早稲田大学パワー・エネルギー・プロフェッショナル育成プログラム (卓越大学院)	システム情報科学府 電気電子工学専攻 修士課程および博士後期課程学生	修士課程2年間 博士後期課程3年間 計5年	連携機関や企業等との共同研究等に参画することにより研究代表者等である指導教員等から卓越RA費を受給することができる。(社会人編入者は対象外)	連携13大学 (北海道大学、東北大学、福井大学、山梨大学、東京都立大学、横浜国立大学、名古屋大学、大阪大学、広島大学、徳島大学、九州大学、琉球大学、早稲田大学) による5年一貫の博士人材育成プログラムである。 卓越必修科目 (7科目10単位) が早稲田大学に設置され、それ以外の卓越専門選択科目等は自らの所属する大学の研究科・専攻に設置される。早稲田大学に設置される卓越必修科目の履修にあたっては、オンデマンド形式、集中合宿形式、学外連携先実習の形態で実施し、連携12大学学生にも配慮した設計となっている。連携機関や企業等との共同研究への従事により、RA費などを各大学で支援。 早稲田大学学生以外の本プログラム生は、早稲田大学では大学院交流学生の学籍にて履修	博士号を取得し将来の新しい電気エネルギー分野で活躍することを希望する学生	・文部科学省 卓越大学院プログラム「POWER ENERGY PROFESSIONALS」Webページ https://www.waseda.jp/pep/support/	1月頃	令和6年度 (令和7年度以降は未定)
5	特別研究員 日本学術振興会	①特別研究員DC1：博士後期課程1年 ②特別研究員DC2：博士後期課程2年以上 ※いずれも採択年度の4月1日時点	①特別研究員DC1：3年間 ②特別研究員DC2：2年間	研究奨励金：20万円/月 科研費：150万円以内/年度			日本学術振興会Webページ https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_sin.html 科研費Webページ https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/20_tokushourei/index.html	3月～5月頃	毎年実施
6	九州大学大学院研究力強化奨学金	本学の博士後期課程に進学を希望して修士課程に在籍する中で、優れた研究能力を有し、日本学術振興会特別研究員DC1に申請する学生、又は博士後期課程1・2年次に在籍する中で、DC2の第一次採用内定者及び第二次採用内定者となった学生	1年間	年額：25万円/一括支給			システム情報科学府Webページ 博士後期課程のご案内、経済支援の奨学金に掲載あり https://www.isee.kyushu-u.ac.jp/doctor.html	6月頃	毎年実施

※注) 1～5の重複受給は不可。